

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実績及び令和3年度実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	方針	施策	内 容	令和2年度			令和3年度
								実績	事業評価	備 考	実績・予定
1	競技大会	全世代	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	④身近な地域でスポーツの交流ができる機会をつくります	とまこまいマラソンを開催する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	9月26日（日）に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2	競技大会	全世代	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	①誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境をつくります	バドミントン、卓球、ソフトテニス、スポンジテニス、ミニバレー、フロアカーリング、パークゴルフの7競技の市民大会を開催し、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため7競技中、3競技（卓球、パークゴルフ、ソフトテニス）の開催となり、R1年度を650名下回る751名の参加となった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・H29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の競技のみ実施予定
3	競技大会	子ども	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑩競技スポーツの活動を支援し世界で活躍する選手を育てます	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・トヨタ自動車北海道（株）と協力し事業実施	3月下旬にカナダ選手団が本市を訪問予定
4	競技大会	子ども	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	⑤地域文化として氷上スポーツへの参加を推進し地元を愛する心を育みます	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図る。	12月5日（土）、6日（日）、13日（日）に開催し、R1年度を3人上回る105人の参加となった。	A (順調に実施)	・H29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	同内容で継続実施予定
5	競技大会	高校生	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくります	⑦スポーツ大会の誘致を行いトップレベルのプレーを観る機会をつくります	氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)		8月3日（火）から8日（日）まで白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ、新ときわスケートセンターで開催し26チーム、656人が参加した。
6	イベント・教室	全世代	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	①誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境をつくります	年5回のウォーキングスタンプラリーを開催し、自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを行う。	・8月1日から10月31日まで各自でコースを設定し行うウォーキングスタンプラリーを実施し、967人の参加となった。 ・10月24日（土）にウォーキングフェスティバルを金太郎の池で実施し、R1年度を70人下回る153人の参加となった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	・6月から9月まで月1回のウォーキングスタンプラリーを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月と9月は中止。 ・10月9日（土）にウォーキングフェスティバルを緑ヶ丘公園陸上競技場で実施した。
7	イベント・教室	全世代	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	④身近な地域でスポーツの交流ができる機会をつくります	市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8地区中、3地区（糸井、中央南、勇払）での実施となり、R1年度を1,183人下回る309人の参加となった。	B (概ね順調に実施)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の地区のみ実施予定
8	イベント・教室	全世代	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ都市推進課	6 民間事業者等と協力して誰もがスポーツに参加できる環境を整備します	⑭民間スポーツ事業者や各種教育機関と協力し誰もがスポーツに参加できる機会を提供します	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	12施設94,937名の参加となっている。	B (概ね順調に実施)		8月末時点で12施設27,077名の参加となっている。
9	イベント・教室	全世代	2020東京オリンピック・パラリンピック開催事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑪アスリートを育み応援することでまちの誇りと一体感を醸成します	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、聖火リレーの実施と本市出身の出場者を応援するパブリックビューイングを開催する。	令和3年度へ延期（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)		・6月14日（月）に聖火リレーを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・7月21日（水）～28日（水）の期間において、日本パラ陸上競技連盟の事前合宿の受入を実施した。 ・8月9日（月）～23日（月）の期間において、カメルーンパラリンピック選手団の事前合宿の受入を実施した。 ・8月12日（木）にパラリンピック採火式を実施。「氷都とまこまい」としてスケートの研磨機を用いて採火した。

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実績及び令和3年度実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	方針	施策	内 容	令和2年度			令和3年度
								実績	事業評価	備 考	実績・予定
10 (新)	イベント ・教室	全世代	北京オリンピックアイスホッケー女子日本代表の応援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑪アスリートを育み応援することでまちの誇りと一体感を醸成します	2022北京冬季オリンピックに出場するアイスホッケー女子日本代表を応援する事業を実施する。	令和3年度新規事業			壮行会とパブリックビューイングを実施予定
11	イベント ・教室	障がい者	フライングディスク教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	7 それぞれの適性に合ったスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	北海道フライングディスク連盟の加賀洋一氏を講師としてお迎えし、フライングディスク教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
12	イベント ・教室	障がい者	ボッチャ教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	7 それぞれの適性に合ったスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	北海道ボッチャ協会理事長の樋口幸治氏を講師としてお迎えし、ボッチャ教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	令和2年度は中止となったが、7月17日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者を含めて令和元年度を1名上回る40名が参加した。
13	イベント ・教室	障がい者	車椅子バスケット教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	7 それぞれの適性に合ったスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	苫小牧WBCの野本孝紀氏と松村和臣氏を講師としてお迎えし、車椅子バスケットボール教室を開催する。	3月13日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めて令和元年度より9名下回る30名が参加した。	B (概ね順調に実施)	・福祉部とも連携	12月18日（土）に福祉ふれあいセンターで実施予定。
14	イベント ・教室	障がい者	パラアイスホッケー教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	7 それぞれの適性に合ったスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	日本代表の須藤悟氏と廣瀬進氏を講師としてお迎えし、パラアイスホッケー教室を開催する。	令和元年度は中止となったが、1月30日（土）に新ときわスケートセンターで開催し、健常者を含めて平成30年度を7名上回る33名が参加した。	A (順調に実施)	・福祉部とも連携	11月20日（土）に新ときわスケートセンターで実施予定。
15 (新)	イベント ・教室	障がい者	フロアカーリング教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	7 それぞれの適性に合ったスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	年代や健康状態に関わらず誰でも楽しめるニュースポーツであるフロアカーリングの教室を開催する。	2月20日（土）に福祉ふれあいセンターで新規事業として開催し、健常者を含め27名が参加した。	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・福祉部とも連携	2月26日（土）に福祉ふれあいセンターで実施予定。
16	イベント ・教室	障がい者	パラスポーツ体験会	総合政策部 スポーツ都市推進課	7 それぞれの適性に合ったスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	2020東京パラリンピック開催前に、パラスポーツ体験を実施することで、市民へのパラスポーツの周知・振興と障がい者の社会への参加につなげていく。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
17	イベント ・教室	子ども	地域スポーツクラブ支援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	④身近な地域でスポーツの交流ができる機会をつくりま	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・セガサミーホールディングス（株）と協力し、ジュニアスポーツ教室を開催	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
18	イベント ・教室	子ども	スポーツマスター事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑫トップアスリートとふれあう機会をつくりスポーツ振興につなげま	スポーツの分野において輝かしい活躍をしたスポーツマスターによる教室を実施し、市民スポーツの向上を図る。	・11月29日（日）に佐藤スポーツマスター（北京五輪銅メダリスト）による中学生以下のジュニア選手を対象とした水泳教室を実施し、27名の参加となった。 ・2月23日（火・祝）に本間スポーツマスター（元王子製紙・五輪出場）による小学生アイスホッケー教室を実施し、42名の参加となった。	A (順調に実施)		・10月23日（土）に佐藤スポーツマスターによる水泳教室をアプロス日新温水プールで実施予定。 ・11月27日（土）に本間スポーツマスターによる小学生アイスホッケー教室をダイナックス沼ノ端アイスアリーナで実施予定。
19	イベント ・教室	子ども	氷上スポーツ育成事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	⑤地域文化として氷上スポーツへの参加を推進し地元を愛する心を育みます	幼児を対象とした氷上スポーツ教室を開催し、遊びやゲームを通じて楽しさを体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。	スピードスケート教室はR1年度を8名下回る10名、アイスホッケーを指導するエンジョイスクールはR1年度を84名下回る157名の参加となった。	B (概ね順調に実施)	・スピードスケート体験教室を平成29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	同内容で継続実施予定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実績及び令和3年度実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	方針	施策	内 容	令和2年度			令和3年度
								実績	事業評価	備 考	実績・予定
20	イベント・教室	子ども	児童の健全育成	健康こども部 青少年課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	②子どもがスポーツに親しむ機会をひろげます	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図り、また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。	7施設127,738人の来館となっている。	A (順調に実施)		様々なボール遊びなどの運動を実施。活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布する。
21	イベント・教室	高齢者	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部 総合福祉課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
22	イベント・教室	観戦者	トップアスリートの試合開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくります	⑨トップスポーツ観戦の機会をつくりスポーツが持つ楽しさや感動を共有します	世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	アイスホッケーアジアリーグジャパンカップが10月10日（土）から3月28日（日）まで開催された。	A (順調に実施)		・アイスホッケーアジアリーグジャパンカップが9月11日（土）から開催。 ・女子プロゴルフ日本ハムレディスクラシックが7月8日（木）から11日（日）まで桂ゴルフクラブで開催された。
23	イベント・教室	観戦者	レッドイーグルス北海道との協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑫トップアスリートとふれあう機会をつくりスポーツ振興につなげます	本市をホームとするアイスホッケーアジアリーグのレッドイーグルス北海道との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、レッドイーグルス北海道への支援及び応援活動を推進する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)		・新運営会社と内容を協議の上、実施内容を検討 ・運営形態変更により、新たにレッドイーグルス北海道として包括連携協定を締結
24 (新)	イベント・教室	観戦者	Safilva北海道との協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑫トップアスリートとふれあう機会をつくりスポーツ振興につなげます	本市をサブホームタウンとするバレーボールV2リーグのSafilva北海道との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、Safilva北海道への支援及び応援活動を推進する。	令和3年度新規事業			・10月30日（土）、31日（日）に本市で開催される公式試合において応援、協力事業を実施予定 ・子ども向けバレーボール教室やプロスポーツチームレッドイーグルス北海道とのコラボ事業の実施を検討
25 (新)	イベント・教室	全世代	アールビーズとの協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	①誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境をつくります	ランニングやウォーキングを中心としたスポーツ事業を実施し、社会貢献活動を行っているアールビーズとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを推進する。	令和3年度新規事業			11月3日（水）に緑ヶ丘公園を会場に、「苫小牧30K」（マラソン大会）を開催予定
26	イベント・教室	観戦者	青森県八戸市との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑫トップアスリートとふれあう機会をつくりスポーツ振興につなげます	アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、両市で開催されるアジアリーグアイスホッケーにおいて、両チームの小学生選抜チームによる交流試合を行うことで会場を盛り上げ、互いの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)		検討中
27	補助・助成	全世代	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	①誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境をつくります	小・中学校の体育館や校庭を市民のスポーツ活動に開放し、青少年の健全育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。	・新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により学校開放事業を休止、宣言解除後は学校使用において少年団のみ利用を再開するも、国や北海道の通知に基づく利用制限を行いながら活動を継続した。 ・一般団体においては、開放再開を模索するも市内等感染状況を踏まえ、令和2年度は中止とした。	C (やや遅れて実施)		市内の小中学校22校、中学校3校を開放予定
28	補助・助成	子ども	大会遠征費助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑩競技スポーツの活動を支援し世界で活躍する選手を育てます	スポーツ振興を目的とした国際大会出場者と、小・中・高校生の全道・全国大会出場者について、その経費の一部を補助する。	35団体 3,202,686円の補助を行った。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
29	補助・助成	高齢者	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけではなく生きがいづくりを図る。	各施設において240枚を配布した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実績及び令和3年度実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	方針	施策	内容	令和2年度			令和3年度
								実績	事業評価	備考	実績・予定
30	補助・助成	町内会	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	⑤地域文化として氷上スポーツへの参加を推進し地元を愛する心を育みます	町内でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	5町内会313,750円の助成を行った。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
31 (新)	補助・助成	市内競技者	スポーツ大会感染拡大防止対策支援事業助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくり出します	⑦スポーツ大会の誘致を行いトップレベルのプレーを観る機会をつくり出します	本市で開催されるスポーツ大会について、感染対策に係る経費の一部を助成する。	17団体 634,290円の助成を行った。	C (やや遅れて実施)		同内容で継続実施
32	利用促進	全世代	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	②子どもがスポーツに親しむ機会をひろげます	市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。	スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント8事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。	A (順調に実施)		9月30日時点でスポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント3事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。
33	利用促進	市内競技者	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ都市推進課	8 誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます	⑩誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	・白鳥王子アイスアリーナ電光掲示板の改修を実施した。 ・ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの電光掲示板及びアリーナ照明の改修を実施した。	A (順調に実施)		R5年度開催のインターハイに向けた緑ヶ丘公園庭球場の改修について、今年度はコート4面を改修しており、完成予定日は11月末となっている。
34	利用促進	市内競技者	スポーツ施設の一体管理	総合政策部 スポーツ都市推進課	8 誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます	⑩誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	総合、川沿公園、日吉体育館、及び緑ヶ丘公園内スポーツ施設（ハイランドスポーツセンター・とましんスタジアム・清水野球場・少年野球場・庭球場・サッカー場・陸上競技場）の一体管理を継続して行った。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
35	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿等助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくり出します	⑧スポーツ合宿の誘致を行いトップレベルの練習手法を学ぶ機会をつくり出します	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	28件1,360,000円の補助を行った。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	9月30日時点で48件2,275,000円の補助を行った。
36	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿の誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくり出します	⑧スポーツ合宿の誘致を行いトップレベルの練習手法を学ぶ機会をつくり出します	大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、本市の優位性をPRする。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）		・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
37	利用促進	市外競技者	全国・全道大会開催誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくり出します	⑦スポーツ大会の誘致を行いトップレベルのプレーを観る機会をつくり出します	本市の魅力や道内外に情報発信する他、開催補助金により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	3件450,000円の補助を行った。	A (順調に実施)		13大会が申請予定
38	利用促進	市外競技者	アイスホッケー競技NTC事業の推進	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくり出します	⑧スポーツ合宿の誘致を行いトップレベルの練習手法を学ぶ機会をつくり出します	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	北京オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行っている。	A (順調に実施)	・平成20年度から文部科学省（現担当：スポーツ庁）より拠点指定	北京オリンピックに向けた環境の整備を実施
39	支援者育成	推進	スポーツ推進委員会活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	5 スポーツを支える人の拡大を推進します	⑬スポーツボランティアの活躍を推進しスポーツを支える輪をひろげます	各種会議への参加や市主催・共催事業への協力等、スポーツ推進委員が地域スポーツの普及・推進を図るため活動を援助する。	11月25日（水）に11月定例会議を実施した。	C (やや遅れて実施)		・4月22日（木）に4月定例会議を実施した。 ・定例会議2回、専門部会2回実施予定
40	支援者育成	補助	スポーツボランティアの育成	総合政策部 スポーツ都市推進課	5 スポーツを支える人の拡大を推進します	⑬スポーツボランティアの活躍を推進しスポーツを支える輪をひろげます	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントへ協力した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施予定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実績及び令和3年度実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	方針	施策	内容	令和2年度			令和3年度
								実績	事業評価	備考	実績・予定
41	支援者育成	推進	北洋大学との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	6 民間事業者等と協力して誰もがスポーツに参加できる環境を整備します	④民間スポーツ事業者や各種教育機関と協力し誰もがスポーツに参加できる機会を提供します	北洋大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
42	支援者育成	補助	アスリートフードマイスター養成支援	産業経済部 観光振興課	5 スポーツを支える人の拡大を推進します	⑩スポーツボランティアの活躍を推進しスポーツを支える輪をひろげます	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	苫小牧市の特産品を使ったレシピコンテストの開催及びアスリートフードマイスターセミナー動画の作成と公開を行った。	A (順調に実施)		アスリートフードマイスターの活動紹介及び市内在住アスリートフードマイスターの紹介
43	PR	大人	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	⑥多様な媒体による情報発信を行いスポーツへの参加をサポートします	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	ホームページや広報とまこまい、SNSで各スポーツイベントの情報発信を行った。	B (概ね順調に実施)	・秘書広報課と連携	同内容で継続実施
44	PR	大人	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	⑥多様な媒体による情報発信を行いスポーツへの参加をサポートします	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	サークルガイドを6月に作成し、公共施設へ配布するとともにHP等で情報提供した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
45	PR	大人	保健センターを利用した運動教室・講座	健康こども部 健康支援課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	教室・講座でのグループダイナミクスを利用した集団指導と個々の身体に合わせた個別指導を組み合わせた複合的なアプローチを図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月から6月まで中止となったが、7月からオンライン教室を実施し、令和2年度は運動教室60名、栄養教室26名の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・保健センターと連携して実施	新型コロナウイルス感染状況により、オンライン教室を継続。保健センターでの教室実施の再開を検討しているが、現在はオンラインのみの開催としている。
46	PR	大人	健康に関するイベント実施	健康こども部 健康支援課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	市民から市民へ健康づくりの関心を広げていく契機となる事業を開催することにより、市民一人ひとりが健康を意識し、能動的かつ継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった健康フェスタ2020の代替事業として、各ポイント等をまとめたラジオ体操動画をYouTubeにアップし、生活習慣改善の意識付けを行った。	A (順調に実施)	・苫小牧ラジオ体操連盟等の関係団体と連携して実施	・「健康フェスタとまこまい2021」を10月3日（日）に保健センター、市民会館の2会場で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症のため中止。 ・特定保健指導対象者や健康情報を伝える健康情報伝道師向けに、講演会や健康状態を確認できる測定会を実施するであったが、新型コロナウイルス感染症の状況により、代替事業の検討を行っている。
47	PR	子ども	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	②子どもがスポーツに親しむ機会をひろげます	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	毎月、子どものための行事案内を作成し、市内各所に配布するとともに、HP等で情報提供した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施